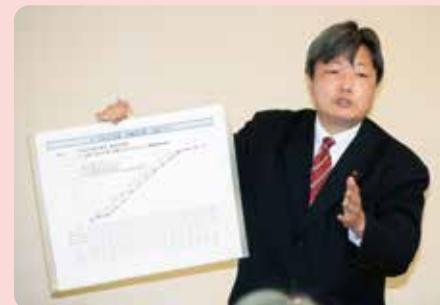


市民のみなさんからの願いをしつかり議会へ届けて奮闘中です

国民健康保険料

制度が変わっても保険料を決めるのは 神戸市です

法律の改定によって、国民健康保険は4月から兵庫県が主体となって運営することになりますが、赤田かつのり議員は、大部分の世帯の保険料が上がってしまうことを指摘しました。神戸市は一般会計からの繰り入れ額を削減しています。他都市では繰り入れをしっかりおこなって、保険料を引き下げているところもあります。赤田議員は神戸市に対し、法定外繰り入れによって保険料を引き下げるよう求めました。



実現しました

就学援助 入学準備金を3月支給に改善

小中学校に入学するこどもたちはランドセルや学生服など、まとまった費用がかかり、家計に大きな負担になります。就学援助制度には「入学準備金」という制度があります。しかし支給は、7月末まで待たなくてはなりませんでした。日本共産党議員団は市民のみなさんといっしょに神戸市に繰り返し、改善を求めてきました。赤田議員も



2017年の文教こども委員会で繰り返し質疑しました。そして今年度から3月支給が実現しました。これからも、こどもや家族の暮らしの実態に即して増額や援助費目を増やすように求めています。

介護保険料

来年度からまた引き上げ！

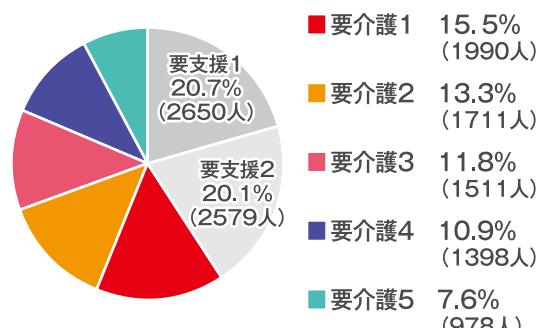
「暮らしの糧である年金が毎年減らされているのに、これでは高齢者の暮らしは成り立ちません」（3月22日の福祉環境委員会での口頭陳述）。4月から、65歳以上の人人が払う介護保険料が改定され、大半が負担増になります。2000年度に介護保険制度が始まって以来、保険料は上がり続けています。



■上がり続ける介護保険料（介護保険料・基準月額と年額の推移）



■垂水区で要介護認定を受けている人の割合と実数（2017年10月31日現在）



引き下げは可能です

介護サービスの需要が増えるのは当たり前です。市民の負担を抑えるために、国は予算を増やすべきです。また、神戸市の基金を有効に活用したり、一般会計からの繰り入れをおこなって、引き下げるることもできます。

国の会計検査院の報告では、第5期（2012～14年度）に10市町が一般会計から介護保険事業特別会計への法定外繰り入れをおこなっています。

主な請願・陳情に対する各会派の態度

	日本共産党	自民党	公明党	民進こうべ	維新の会	民進党	無所属 (垂水区選出)
最低賃金の改善と中小企業支援の拡充等を要請する意見書提出を求める請願	○	✗	✗	✗	✗	✗	✗
消費税率10%への増税の中止を要請する意見書提出を求める請願	○	✗	✗	✗	✗	○	✗
来年度介護保険料の値上げをしないことを求める陳情	○	✗	✗	✗	✗	✗	—
国民健康保険の神戸市独自の人的控除の継続等を求める陳情	○	✗	✗	✗	✗	✗	—

予算特別委員会

赤田議員が おこなった質疑

3月2日

●認知症事故救済制度にかかる超過課税について●国民健康保険料への一般会計からの繰り入れについて●介護保険料の引き下げについて●介護職員の処遇改善について●地域医療構想について

3月7日

●下水道事業について●神戸市都市公園条例の改正による社会福祉施設の占用許可について●小束山6丁目交差点の渋滞対策について●大阪湾岸道路西伸部の事業見直しについて



性的マイノリティ(LGBT)の人たちの人権と生活向上を／認可保育所の増設、学童保育の拡充を 日本共産党